



2019年度

宮古島市

当初予算

お問合せ：財政課 ☎ 72-4788

2019年度 一般会計予算額

404億3500万円

平成30年度から
32億1900万円の
増額

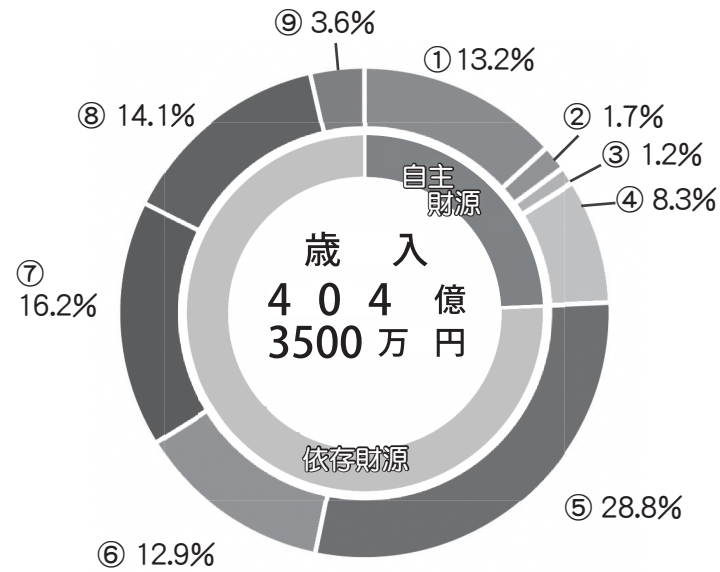
2018年度 一般会計予算額

372億1600万円

各会計予算総括表

会 計 名	当 初 予 算 額	増 減 率
一 般 会 計	404億3500万円	8.6%
特 別 会 計	152億3683万3千円	8.6%
国民健康保険事業特別会計	62億5815万2千円	3.5%
港湾事業特別会計	11億5627万2千円	280.6%
農漁業集落排水事業特別会計	9922万1千円	22.8%
公共下水道事業特別会計	9億7754万3千円	35.4%
介護保険特別会計	61億5759万1千円	△1.1%
後期高齢者医療特別会計	5億1052万9千円	4.3%
再生可能エネルギー運営事業特別会計	1272万5千円	△13.2%
土地区画整理事業特別会計	6480万円	△57.1%

一般会計歳入



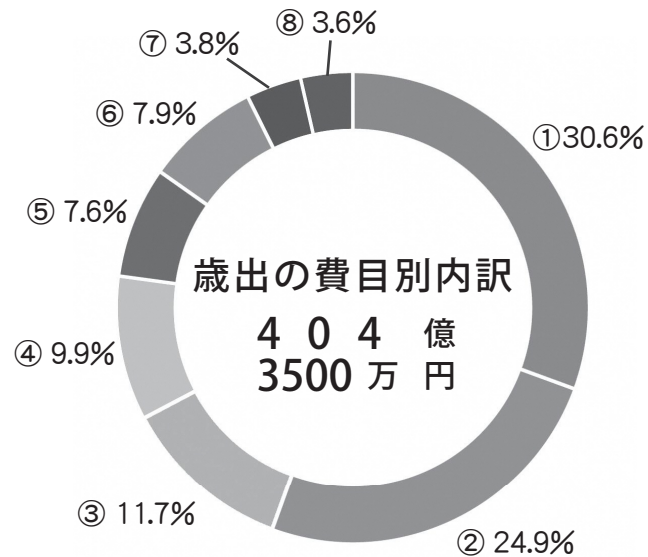
自主財源

- ①市税：53億4816万3千円(13.2%)
- ②使用料及び手数料：6億7368万4千円(1.7%)
- ③分担金及び負担金：4億7803万9千円(1.2%)
- ④諸収入他寄付金等：33億3804万5千円(8.3%)

依存財源

- ⑤地方交付税：116億7836万7千円(28.8%)
- ⑥国庫支出金：52億3199万7千円(12.9%)
- ⑦県支出金：65億5251万6千円(16.2%)
- ⑧市債：56億9730万円(14.1%)
- ⑨地方譲与税・交付金等：14億3688万9千円(3.6%)

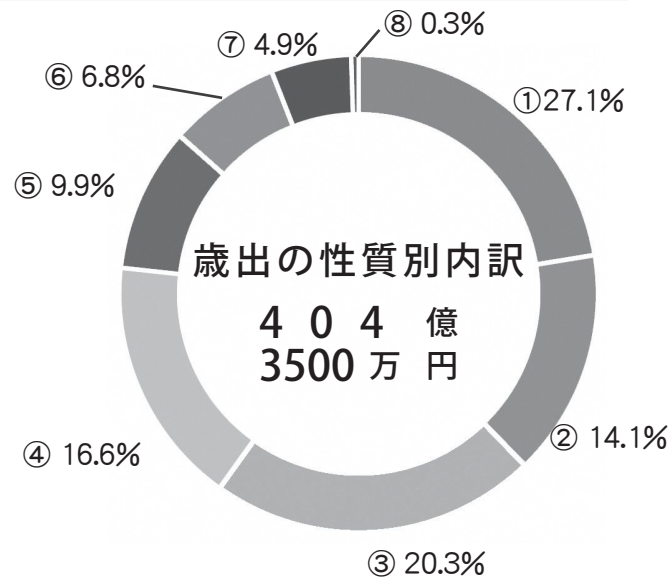
一般会計歳出(費目別)



費目別

- ①民生費：123億6906万2千円(30.6%)
- ②総務費：100億8836万2千円(24.9%)
- ③農林水産業費：47億4692万3千円(11.7%)
- ④公債費：39億9246万6千円(9.9%)
- ⑤土木費：30億8933万3千円(7.6%)
- ⑥教育費：31億7709万2千円(7.9%)
- ⑦衛生費：15億2965万1千円(3.8%)
- ⑧その他(消防費・商工費など)：14億4211万1千円(3.6%)

一般会計歳出(性質別)



性質別

- ①普通建設事業費：109億4404万1千円(27.1%)
- ②人件費：57億399万6千円(14.1%)
- ③扶助費：81億9762万円(20.3%)
- ④物件費：67億1086万8千円(16.6%)
- ⑤公債費：39億9246万6千円(9.9%)
- ⑥繰出金：27億5064万7千円(6.8%)
- ⑦補助費等：19億9402万6千円(4.9%)
- ⑧その他(維持補修費や予備費など)：1億4133万6千円(0.3%)

Point
2019(H31)年度の当初予算は、新市建設計画におけるリーディングプロジェクト及び沖繩振興特別推進事業、市総合計画に沿ったまちづくりを実施し、市民生活の向上と福祉行政サービスの充実、社会基盤の整備などの推進に取り組む予算編成となっています。

一般会計予算総額は404億3500万円、前年度と比較して32億1900万円の増額。特別会計予算総額は152億3683万3千円となっています。

主な事業として、総合庁舎整備事業で約50億6700万円を予算措置しております。伊良部地区小中一貫校整備事業(解体工事、グラウンド整備)で約3億8300万円を計上、城辺地区統合中学校整備事業(設計)で5100万円を計上しています。

沖繩振興特別推進事業(一括交付金)の主な事業としては、伊良部大橋橋詰広場地域振興施設整備事業として約2億4800万円、移動図書館整備事業として約3100万円を計上しております。

子育て支援及び子どもの貧困対策としては、出産祝い金に約1490万円を計上。平成30年度に引き続き、第1子からの支給となっています。子育て支援対策学校給食費補助費に約1億円を計上。平成29年度からの継続事業で、宮古島の小中学校の児童、生徒を対象に給食費の半額補助を実施します。

Point

予算の特徴



2019年度一般会計当初予算
(宮古島市)



1年分の家計
(年間必要生活費500万)

収入

市税	53億4816万3千円
負担金・使用料など	14億2318万8千円
地方交付税・地方譲与税・各種交付金	131億1525万6千円
国・県支出金	117億8451万3千円
市債	56億9730万円
繰入金	30億6658万円
合計	404億3500万円

支出

人件費	57億399万6千円
物件費など	67億1086万8千円
投資的経費・維持補修費	110億3962万9千円
扶助費	81億9762万円
補助費等	19億9402万6千円
公債費	39億9246万6千円
積立金・貸付金など	4574万8千円
繰出金	27億5064万7千円
合計	404億3500万円

資産の状況

平成30年度末(見込)	
基金残高(見込)	169億2023万1千円
市債残高(見込)	416億7952万4千円

収入

給料	約66万円
臨時(パート)収入	約18万円
仕送り	約162万円
特別仕送り	約146万円
ローン借入	約70万円
預貯金取り崩し	約38万円
合計	500万円

支出

食費	約71万円
光熱水費・通信費	約83万円
自宅増改築・修繕	約137万円
医療費、保険料、介護サービス、利用料等	約101万円
子どもへのこづかい、教育費、自治会費など	約25万円
ローンの返済	約49万円
預貯金への積立	ほぼゼロ
子どもへの仕送り	約34万円
合計	500万円

資産の状況

家計に例えた場合	
預貯金残高	209万円
ローン残高	515万円

市債の種類によっては元利償還金(返済金)の一部が交付税の算定に使われます。宮古島市はほとんどそういった市債メニューによる借入を行っており、世代間公平性(道路や学校等、長期間使用される施設の建設にあてられた市債の返済は、耐用年数等を参考に使用する世代で公平に負担していただく)の観点からも通常のローンとは違う点にご留意ください。

1年間に必要な生活費500万円に対し、自ら稼いだ給料は約66万円、パート収入約18万円と少額で、ほとんどの支出が親からの仕送り等約308万円(約162万円+約146万円)により賄われている状態にあります。

まとめ Check

2019(H31)年度の当初予算は総合庁舎建設事業の影響等により、前年度と比較して32億1千9百万円の増、初めて400億円台の予算となりました。

今回の当初予算では、歳入では自主財源が対前年度比で38.6%の伸びとなっています。主に要因としては、市税の約3億円の増、財政調整基金や庁舎等建設基金などの繰入金の約24億円の増となっております。依存財源は対前年度比で約1.6%の増となっています。そのうち市債は、前年度より12億1060万円増の約57億円で予算措置しております。市債の予算措置に関しては建設事業の予算措置に依存される為、中期財政計画にて年度間の平準化を図っています。また、総務省が定める健全化判断比率の基準を超えることがないように調整しています。

総合庁舎等の大型建設事業には、中期財政計画において、起債、庁舎等建設基金で対応するよう、計画されています。また、合併後これまで、普通交付税の算定替(合併後の一定期間、普通交付税が通常より多くもらえる計算方式)により決算で黒字となった分の一部については、算定替期間終了後の財源不足に対応する為、財政調整基金に積立ててきました。2019(H31)年度当初予算よりその財政調整基金を取り崩して予算化しています。

今後も沖縄振興特別推進事業による地域活性化、国の施策も含めた福祉行政によるサービスの向上を図るなど、地域の均衡ある発展にも努めて参ります。